このたび、鑑定師養成講座を終了し、卒業試験後、鑑定師の活動を開始します。
通販やカフェ、いろいろなワークショップ、本の製作などは引き続き行っていきますので、あくまでも少数の方に向けた「今より幸せに暮すためのヒント」をお渡しするような活動です。

その一環として、鑑定も受付ますが、月一で無料プチ授業をやっていくことにしました。すでに四柱推命に関しては何度かやっているのですが、今回、ホロスコープやカードリーディング、それと合わせて受講中のヒーリングセラピーからも日々の暮らしに取り入れられるヒントをお伝えします。

本日のメニュー

1. 四柱推命の命式の見方
2. 日柱を読み解く
3. 天中殺の話
4. ネイタルチャートの見方
5. ホロスコープを構成するものと意味
6. 開運ってなんだろうというはなし
7. 日本酒と塩のはなし
8. カードの種類

1. 四柱推命の命式の見方

年柱：祖先・家系・社会との縁
　　子ども時代や目上との関係にも
月柱：両親・家庭・職場・才能
　　社会適応能力・職能・青年期も
日柱：本人・配偶者
　　日干＝本人の「魂の性質」
　　日支＝配偶者との関係など
時柱：子ども・晩年・潜在能力
　無意識、趣味、老後の姿や創造性など

・本人の性質・性格傾向
日干（にっかん）で見る基本性格（五行の性質）
比劫・食傷・財・官・印のバランスで見る行動傾向・考え方
天干・地支の組み合わせによる気質

・仕事・適職・才能
　月柱・通変星・蔵干から

「何で力を発揮するか（表現型）」
「どんな役割に合うか（外的ポジション）」

正官・偏官→管理・責任タイプ
食神・傷官→表現・創造タイプ　など

・金運・経済感覚・稼ぎ方の傾向
財星（正財・偏財）の位置と強弱
財と官の関係から「お金×仕事の縁」や「スポンサー運」
食傷から見る「自力収入力」

・恋愛・結婚・配偶者運
日支・配偶者宮

官星（女性にとっての夫）、財星（男性にとっての妻）
天干にあるか・地支に隠れているか
正官と偏官の違い→安定志向か、情熱型か
比肩多い＝恋愛より友情重視　など

2. 日柱を読み解く

日柱は その人自身を表す超重要ポイントです。
日干（にっかん）＝自分の本質（＝あなた自身）
日支（にっし）＝自分の内面や本音・家庭・配偶者など

日柱の読み方のステップ

① 日干（上の字）＝「十干（じっかん）」
「甲・乙・丙・丁・戊・己・庚・辛・壬・癸」のどれか
自分の性格のベース。五行＋陰陽の性質で読む！

日干	五行	陰陽	性質のざっくりイメージ
甲	木	陽	大樹・まっすぐ・頑固・理想
乙	木	陰	草花・柔軟・繊細・調和型
丙	火	陽	太陽・明るい・情熱・表現力
丁	火	陰	ロウソク・直感・情緒・内面の火
戊	土	陽	山・安定・責任感・どっしり
己	土	陰	畑・世話好き・分析的・堅実
庚	金	陽	鉄・強い・切る・論理的
辛	金	陰	宝石・美意識・慎重・品格
壬	水	陽	海・知識・奔放・広がり
癸	水	陰	雨・やさしい・内向・観察力

② 日支（下の字）＝「十二支」

内面、家庭、パートナー運、感情のクセもここに出る。
たとえば:
子（ね）→水の気。知性・冷静・夜型。
午（うま）→火の気。情熱・直感・自己表現。
酉（とり）→金の気。美意識・整理整頓・孤独もOK。

日柱の役割まとめ

部分　意味・キーワード
日干　自分の“表面と本質”。他人からも感じられる性格。
日支　自分の“内面”。結婚運や配偶者の傾向、無意識のクセ。

3. 天中殺の話

天中殺という名称が一番使われているので、ここでは天中殺としていますが個人的にはずっと「空亡」という言葉を使っていました。細木数子さんが提唱していた「大殺界」も同じような意味です。大殺界では期間は3年でしたが、わたしが学んでいる四柱推命では2年です。
天中殺が生まれる仕組みは「未来ノート」のページを使って説明します。

4. ネイタルチャートの見方

あなたが生まれた時の天体配置をネイタルチャートと言います。ホロスコープには興味がないという場合は、ここで退出してもかまいません。
ネイタルチャートは予めサンプルとして使ってもいいとお申し出くださった方のものを使って説明していきます。

5. ホロスコープを構成するものと意味

ホロスコープの円は、12個の部屋（＝ハウス）に分かれていて、それぞれが人生の「どの分野」に星の影響が出るかを表しています。
たとえば、太陽が「5ハウス」にある → 自己表現・創作活動が人生のテーマになる
金星が「7ハウス」にある → 恋愛・結婚・パートナー運が豊かになる

12ハウスの意味（ざっくり一覧）
1ハウス: 自分・外見・個性 自分
表す分野（フィールド）: 自分の見せ方・印象・生き方のスタイル
2ハウス: 所有・お金・才能
表す分野（フィールド）: 財産・収入・自分の価値・才能
3ハウス: 学び・会話・近距離
表す分野（フィールド）: コミュ力・兄弟姉妹・情報・移動
4ハウス: 家・ルーツ・安心感
表す分野（フィールド）: 家庭・心の土台・過去
5ハウス: 創造・遊び・恋愛
表す分野（フィールド）: 表現・子ども・趣味・恋愛

6ハウス: 労働・健康・習慣
表す分野（フィールド）: 仕事のやり方・体調・毎日のルーティン
7ハウス: パートナー・他者
表す分野（フィールド）: 結婚・協力・契約・対人関係
8ハウス: 深いつながり・再生
表す分野（フィールド）: 相続・性・心理・スピリチュアル
9ハウス: 探求・冒険・信念
表す分野（フィールド）: 宗教・哲学・留学・出版・理想
10ハウス: 社会的成功・肩書き
表す分野（フィールド）: 仕事・社会的ポジション・目標・称号
11ハウス : 仲間・未来・発展
表す分野（フィールド）: グループ・SNS・夢・ネットワーク
12ハウス : 無意識・癒し・秘密
表す分野（フィールド）: 潜在意識・スピリチュアル・隠れた影響力

どこを見ればいいの？
まずはこの3点をチェック！
太陽・月・アセンダント（ASC）がどのハウスにあるか
→ あなたの人生の柱や第一印象が出る
どこに天体が集中しているか
→ その分野が強調されている（5ハウスに天体が多い＝創作系の人生）
トランジットでどのハウスを通っているか
→ 今その分野に「風が吹いてる」状態

ホロスコープは、「何（惑星）」が「どこ（星座）」で「どこ（ハウス）にあるか」で読みます。
たとえるなら、惑星は役者、星座は性格、ハウスは舞台です。

6. 開運ってなんだろうというはなし

7. 日本酒と塩のはなし

8. カードの種類

きらら舎魔法部の「占いカードの歴史、特徴、占い方」のページを使って説明します。